

受付番号	平成26年10月10日
/	午後3時35分 受領

平成26年10月10日



胎内市議会議長 様

胎内市議会議員 楊 文彦

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
優良企業の誘致について	①王農日本海時代に対応(50万人以上)の政令指定都市新浮を拠点とすると、泉田知事公言している。東港と隣接する胎内市。地球温暖化による海岸侵食が進む。そこで国営事業で漁港を合わせた大規模な商業港建設を計画し、優良企業の誘致に対し、地方創生担当大臣に要望して見れば、新県を伺う	市長
小規模農家等と市政に	①米の直接支払交付金(旧戸別所得補償)中山間地域等直接支払をどうとらえているか、米価を安定価格に米米なら、米の直接支払交付金	市長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>は堅研農業者を守るべきと思うが市からの要請もこれから必要だと思われ所見を伺う。</p> <p>②食料料米に対する米量の対応策は今TPPで牛肉関税(35%)の問題も控えて大変ではうかがい収入が見込めるので所見を伺う。</p>	
<p>市営住宅、一般住宅の空き家有効利用対策は</p>	<p>①市営住宅の健全運営と一般住宅の再生再利用を市が率先して取り組むことにより田舎暮らしをサポートすることにより人口減つのはどうか。となると思うが、所見を伺う。</p>	<p>市長</p>
<p>必要なら二つ整備を積極的に</p>	<p>①冬期間の生活道路確保の急ぎの消雪パイプ新設の長期計画の策定はどうか</p> <p>②丁中条駅西口整備後の維持管理はどうかの急ぎの対応をされるのか</p> <p>③中条地区の小道石綿管入替の工事は後どの位の期間を予定しているか。人の健康面にかかわるので急を要すると思うか</p> <p>所見を伺う。</p>	<p>市長</p>

受付番号	平成26年10月14日
2	午前8時44分 受領

平成26年10月14日

胎内市議会議長 様



胎内市議会議員 渡辺秀敏

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手	
火災防災について	① 市内全域に設置されている防火施設の設置状況及びその点検はどうか。	市長	
	② 9月20日に発生した築地地内の火災が大火となりました。河滑な消火活動が行えなかったのではないか。どんな支障があったのか。		
	① 消雪パイプの設置状況はどうか。又今後の増設について計画はどうか。		市長
	② 道路凍結による交通事故防止対		
	冬期間の降雪や道路凍結による交通事故の防止対策について		

質問事項	質問の要旨	質問の相手
少子化現象による 生徒数減少の中での 部活動の健全な運 営について	策はどのように行うのか。 ③ 国道113号線は県の管理下にお かっているが、毎年道路凍結による 重大事故が多発している。県の安 全及び市内における交通事故防止 の観点から市としてはどのような対 策も考えているのか。	教育長
	① 生徒数の減少により、部活動の 廃部やチーム編成ができていない状況 が起きているが市としては今後どの ような対策も考えているのか。	



受付番号	平成26年10月14日
3	午前10時5分受領

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

平成26年10月 日

胎内市議会議員 天木 義人

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告いたします。

	質問の要旨	質問の相手
改選と女性登用について	<ol style="list-style-type: none">1. 今回の無投票市議選についての、感想、所感は。2. 女性議員がいなくなりました。市で女性の積極的な登用をし、今後の改選において女性が出られる環境作りの考えは。	市長
市営住宅について	<ol style="list-style-type: none">1. 市営住宅、カーボンデール住宅、市設住宅、特定公共賃貸住宅の待機者及び空き室(空き家)状況は。2. 空き室(空き家)対策は家賃の改定だけで十分か。3. 特定公共賃貸住宅において、家賃の改定が提案されているが、建設年数において、家賃の是正はできないか。4. 老朽化で、解体をしなければならない、物件はあるのか。5. 年次計画として、メンテナンス、リフォームの計画はあるのか。	市長
少子高齢化について	<ol style="list-style-type: none">1. 若者の定住促進として、祝い金、住宅補助金、安価な土地の提供等を考えていないのか。2. ブライダルアドバイザーの現状は。3. 山形県鶴岡市、山梨県笛吹市との婚活交流の進捗状況は。4. 高齢者の積極的な活用方法は(日中の自主防災組織、一人暮らしの見廻り隊、等)。5. 健康寿命事業の今後の政策は。6. 家庭介護手当助成のさらなる充実を図れないものか。	市長

受付番号	平成26年10月14日
4	午前10時10分 受領

平成 26 年 10 月 14 日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様



胎内市議会議員 丸山孝博

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
産業問題について	<ol style="list-style-type: none"> 1 小規模企業振興基本法を生かし、零細自営業者の支援策をおこなうために、本市において、この法律をどう具体化するか。中小企業振興条例の制定と合わせ、具体化すべきでないか。 2 米価暴落による本市の農家所得、地域経済、税収等の影響はどうか。 3 主食の米の需要と安定をはかるのは政府の責任であり、備蓄米を飼料用にまわし、過剰な25年産米を買い上げるなどの緊急対策を政府に求めるべきではないか。 4 規制改革会議の農業改革に関する意見として、農業委員会や農協組織を解体する方針が打ち出されたが、市長の見解はどうか。 	市長
保育・国保問題について	<ol style="list-style-type: none"> 1 保護者の子育てと就労の両面を支援するため、病児・病後保育を実施すべきでないか。 2 国保加入者の生活実態から、国保税の引き下げは必要であると考えがどうか。 	市長
市長の政治姿勢について	<ol style="list-style-type: none"> 1 消費税増税についてどの世論調査でも「反対」が「賛成」を大きく上回っているが、市長の見解と国に対して消費税増税を中止するよう求めることについて。 2 開志国際高等学校に1億円も補助金交付する一方で、黒川地区の住民には簡易水道料金25%もの新たな負担を押しつけることに対する認識を伺いたい。 	市長

受付番号	平成 26年 10月 14日
5	午前10時16分 受領

胎内市議会議員 渡辺 俊 様



平成 26年 10月 14日

胎内市議会議員 佐藤 武志

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告いたします。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 開志国際高等学校関連などについて	<p>1. 開志国際高等学校設立の経緯についてなど、開校にあたり、市・県の大学・私学振興課へ住民アンケート結果に基づいて住民の理解と同意を求めたが、「開校反対」旗を掲げた住民行動のなかで開校に至った事について伺う。</p> <p>2. まだ、開校6か月しか経たない開志国際高等学校に対し、教育振興費補助の名目で校舎・学生寮などの修繕費等の一部に今年度5千万円、27年度に5千万円の 壱億円もの市民の血税を使い補助を行なうとしていること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も胎内市は開志国際高等学校に対してどのような関与を続けて行くのか。 ・続けて行くとすれば理由は何かを伺う。 	市長
2. ビール園の無償貸付について	<p>1. NSG関連の新会社に無償貸付となった経緯。補助金を9千600万円を拠出した経緯・内容など引き継がれた園の初期経営動向について伺う。</p>	市長
3. 中条駅西口整備事業・駅舎及び周辺について	<p>1. 中条駅の西口を設けることには反対ではない。しかし、乗降客が減るなかで莫大な約17億円の公費を使ってまで、橋上駅舎を新たに建設してまでも西口整備事業を行う必要性と維持管理費用について</p> <p>また、将来、利用客数に見合う駅舎と成る計画を持つての事業なのかなどについて伺う。</p>	市長

受付番号	平成26年10月14日
6	午前10時41分 受領

平成26年10月14日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

胎内市議会議員 渡辺 栄 六

一 般 質 問 通 告 書



胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
防災対策について	<p>本年8月、広島市で発生した大規模土砂災害や、9月には長野、岐阜両県にまたがる御獄山の噴火で、多くの尊い命が犠牲になった。</p> <p>いつどこで発生するかわからない、これらの災害から地域の防災力を高め、災害に強い街づくりを進めていくために自主防災組織の強化や、地域の担い手となる防災士の育成と支援等が喫緊の課題となっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、防災士養成研修の開催が来年度に実施できるよう検討していると聞いている。その具体案と資格取得に必要な経費一人、6万円に対する市からの助成について。 2、市内、土砂災害警戒区域22行政区の安全確認と、危険区域に住んでいる住民に対する避難場所や誘導の周知徹底方法について。 3、災害発生時において、高齢者や障がい者に対する救援、救護と安全対策について。 4、災害時に一目で安否確認ができるように黄色い「安否確認旗」を全戸に配布し、玄関先に旗を掲げて無事を示す防災訓練を実施できないか。 5、防災、減災意識を高め合う市民交流の場として、現在実施しているスポーツフェスティバルの種目に、「簡易担架作成・搬送リレー」や「水バケツリレー」等、取り入れてはどうか。また主旨を変えて、防災運動会形式に切り替えてはどうか。 	市長

(2枚中の1枚目)

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>猿害対策について</p>	<p>深刻化している野猿被害が中山間地で広範囲に発生している。早急に効果的な対策の実施が必要である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、近年における、猿害対策の現況について。 2、平成26年度における、胎内市鳥獣被害防止計画と効果について。 3、住民への猿害対策の周知と捕獲の担い手育成について。 4、猿害対策の課題と今後の対応について。 	<p>市長</p>

受付番号	平成 26 年 10 月 14 日
7	午前 10 時 45 分 受領

平成 26 年 10 月 14 日

胎内市議会議員 渡辺 俊 様



胎内市議会議員 薄田 智

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1.人口減少問題に対する対策について	<p>① 少子高齢化・人口減少問題は各自治体間で大きな課題であり、早急な対応が求められている。市を挙げた人口減少抑制対策を検討し、その対策を実施する必要があると考える。その実施を推進するため、胎内市人口減少対策検討会議の設置についての考えは。</p> <p>② 各課横断的な若手職員から成る人口減少問題対策プロジェクトチームを設置し、人口減少の要因を調査・分析する。さらに胎内市の課題や解決策を検討し、今後の取り組むべき実効性のある施策を検討し、推進を図る考えについては。</p>	市長
2.自然災害へのさらなる対策について	<p>① 各地で自然災害が多発しており、大きな被害と尊い命が奪われている。本市においても、47 年前に羽越豪雨により 42 名の尊い命が犠牲になった。現在、日本各地で発生している自然災害を検証し、今一度原点に戻り、本市が抱える災害リスクを想定し、対策を推進する必要があると考えるが。</p> <p>② 避難・誘導體制の判断と実行体制は。</p>	市長
3.生涯学習センターの必要性和建設について	<p>① 生涯学習センターを建設して、若者から高齢者まで何時でも誰でも学習できる環境整備を提案したい。</p> <p>② 建設予定地は、中条体育館の跡地の活用を考えてはどうか。また、同用地は、今後文教エリアとして整備していくのか。</p>	市長
4.アメリロやセイタカアワダチソウの駆除について	<p>① 毎年被害が拡大しており、胎内市全体での広域的駆除が必要と考えるが。</p> <p>② 異常発生しないよう、県や大学との研究や調査などの連携が必要と考えるが。</p> <p>③ 所有者不明の立ち木や土地の駆除についての考えは。</p>	市長

受付番号	平成26年10月14日
8	午前10時47分 受領

平成26年10月14日



胎内市議会議長 様

胎内市議会議員 佐藤 陽志

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
胎内市の人口減少対策について	①胎内市の人口は減少傾向にあり 10年で1割近く減少している。 胎内市にて行われた子育てに関するアンケートなどからも育児に理解ある職場環境が必要とされる。市では男性の育児休暇取得率3%を目標として掲げているが、達成状況はどうか?	市長
	②他の市町村では、男性の育児休暇を奨励するため、事業所に対し補助金を出す例があるが、検討しているか?	
中条中学校生のヘルメット着用について	①最近、胎内市においても、頭部損傷による死亡事故があった。胎内市では中条中学校だけが登校時にヘルメットをかぶらない状況であり、改善が望まれる。市としてルール化できないか?	教育長

	②ヘルメット購入に対し、補助金を	市長
	出すことは可能か？	
コミュニティースクール 制度の導入について	①7月31日に行われた教育懇談会の	教育長
	際、由利本荘市の講師がコミュニテイ	
	ースクール制度の紹介をしていた。	
	P T A研究大会などの場で、各地にて	
	導入した話を聞く。当制度を胎内市で	
も導入したいと考えるがいかがか？		

受付番号	平成26年10月14日
9	午前11時58分 受領

平成26年10月14日



胎内市議会議長 様

胎内市議会議員 森本 将司

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
障害者福祉について	<p>多様なサービスが求められる 現代社会において、障害者 福祉も例にもれない。 地域における障害者補助を これまで以上に充実させる為 にも基幹相談支援センターの 設置が必要であると考えるが 現在の胎内市における障害者 福祉と基幹相談支援センター に対する市長のお考えをお聞 きたい。</p>	市長

受付番号	平成26年10月14日
10	午前11時59分 受領

平成 26年 10月 14日

胎内市議会議員 渡辺 俊 様

胎内市議会議員 森 田 幸 衛

一般質問通告書



胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告いたします。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
胎内市独自の支援制度について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 住宅リフォーム（15%）補助事業の成果と次年度継続の意思は。 2. 一般住宅用 LED 照明に対する補助制度を創設すべきではないか。 3. （仮称）『胎内市がんばる農業支援制度』を創設すべきではないか。 【補助率 50% 限度額 100 万円 予算総額 1, 0 0 0 万円程度】 	市長
JA 改革について	政府が強制的に進めようとしている JA 中央会の解体を含めた「JA 改革」についての市長の見解は。	市長
地域防災について	9 月 20 日に築地で発生した火災によって、当該地区の消火栓や水利が不完全なことが浮き彫りになった。この火災の消火活動における胎内市としての総括と、今後の対応については。	市長
特別支援教育について	特別支援が必要な児童・生徒の保護者が、子どもの将来を真剣に考え、地元の小中学校ではなくて、あえて新潟市や村上市の特別支援学校に毎日送迎している世帯に対して、その通学を支援する体制を柔軟かつ早急に立ち上げるべきではないか。	教育長